

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校新聞部
芸術鑑賞号

金管楽器で織りなすハーモニー！



5月18日午後、近江八幡市文化会館で、市内合同芸術鑑賞会が行われ近江兄弟社の高校生とともに鑑賞した。今年度は金管楽器アンサンブルの演奏で二部構成の計8曲が演奏された。

音楽のあれこれインタビュー！

演奏後、トロンボーン奏者の戸井田さん。チューバ奏者の北島さんに取材をさせていただいた。お二人に伺ったいくつかの質問と回答をQ&A形式で紹介する。

Q 今回演奏された曲はどういった意図をもって選ばれたのでしょうか。

A 多くは古くからある有名な金管アンサンブル団体の代表的な曲の中から選曲しました。その中でも金管アンサンブルにゆかりがない生徒さん達も楽しめると思ったものを選びました。

Q 金管アンサンブルと聞くと一般的にあまり認知されていない印象がありますが有名なものなのでしょうか。

A イギリスでは金管バンドの分野が盛んであり10~20人程度で構成され、プロからアマチュアまで、多くの金管バンドが存在しています。特に、フィリップ・ジョーンズ・ブラス・アンサンブルは世界的にも有名な金管楽器のアンサンブル団体です。

Q クラシック音楽は、世間であまり聞かれなくなっていると感じますがどうお考えですか。

A 私も近年のポップスは大好きですが、クラシックには今の時代の音楽にはない価値があります。クラシックは作曲者が波乱万丈な時代に巻き込まれながらも命を懸けて作られた音楽なので、聴く時代が違ってもその音楽のエネルギーを感じ取ることができます。また、クラシックは同じ曲でも指揮者や奏者によって全く印象が異なる点が面白いところです。生演奏で聴くとその迫力に圧倒されるので、ぜひ生で聴くこともお勧めしたい。それらをお届けするためにも演奏を続けていきたいです。

Q 演奏していて一番楽しい時はいつですか。

A 大きな音を出している時がとても楽しいです。実は金管楽器の特徴で、際限なく大きな音を広い音域で出すことができるということがあります。これは金管楽器のみの楽しさです。



↑インタビューの様子



↑質問に答えている様子
北島さん(左) 戸井田さん(右)

演奏から伝わってくる圧倒的な力

大阪市音楽団の楽員を中心に構成された、ジ・オオサカブラスターズ。「もっと柔軟にアンサンブル活動をやりたい！」という思いから結成された。また、学校の鑑賞会や、地域イベントへのゲスト出演などの活動も展開している。

公演は第一部、第二部に渡り合わせて8曲演奏された。ここではその中の3曲を紹介する。

今回紹介するのは、第一部のプログラム2番目に演奏された『ジブリメドレー』だ。世界でも人気を集めているジブリの曲の中から『となりのトトロ』『君をのせて』『アシタカとサン』『さんぽ』の4曲がメドレー形式で披露された。普段聴く音楽とは違った金管五重奏で奏でるオリジナルティあふれた演奏にとっても感動した。

迫力のある演奏や、美しい音色に圧倒されたのか、多くの生徒がステージに集中していた。次に紹介するのは、第一部のプログラム4番目に演奏された『3匹の猫』だ。曲名が表す通り3匹の猫をモチーフとした3つの楽章からなっている。穏やかな章や愉快な章など、猫たちの雰囲気や性格を感じ取ることができる曲となっていた。

最後に紹介するのは、第二部のプログラム最後に演奏された『高貴なる葡萄酒を讃えて』だ。ヨーロッパ各地のお酒のタイトルを持った5つの曲からなる組曲だ。1曲目に演奏されたシャンパーニュ(シャンパン)という曲の中でトロンボーンの一部を使い、シャンパンのコルクを抜く音を表現す

る部分があり耳だけでなく、目でも楽しめた。

本来は口を使って演奏する箇所だが、練習が間に合わなかった。そのため、皆さんで代替案を出し合い、トロンボーンを使ってこの音を表現することになった。

演奏前には曲の概要や楽しみ方などの解説が入り、曲への没入感、満足感をより感じることができた。



↑金管五重奏形態での演奏

意外なきっかけ

今回、取材に協力してもらった戸井田さん、北島さんの生い立ちについて聞きました。

戸井田さんは小学6年生の時、ピアノを習っていたが音楽に興味を持てなかった。その後、吹奏楽部に入っていた。その中でトロンボーンに触れて、音楽の楽しさに気づき、今にいたる。

北島さんは、高校生の兄がチューバを吹いている姿に憧れを抱い

た。その流れで音楽大学に入学。卒業にあたり、音楽家として就活を始める。そのため、手あたり次第にオーケストラや楽団のオーディションを受けた。

チューバ奏者は定員が一人の場所に200人近くがオーディションを受ける。そのため、非常に難易度が高い。その中で大阪市音楽団に入団が決まった。

演奏者を取り囲んで質問攻めにしていた近江兄弟社高校吹奏楽部の皆さん。お二人に感想などを聞きました。

楽器の表現が豊かで感動。勉強になりました。今日のことを頭に残して大学でも頑張りたい。(2年 Mさん) ダブルタンキング(トゥクトゥクトゥク・・・と発音してタンキングを素早く行うテクニック。普通のタンキングは「トゥ」)のコツを教えてもらった。基礎からちゃんとしなきゃダメだと実感した。(2年 Iさん) ちなみに部員は70名程。頑張っ